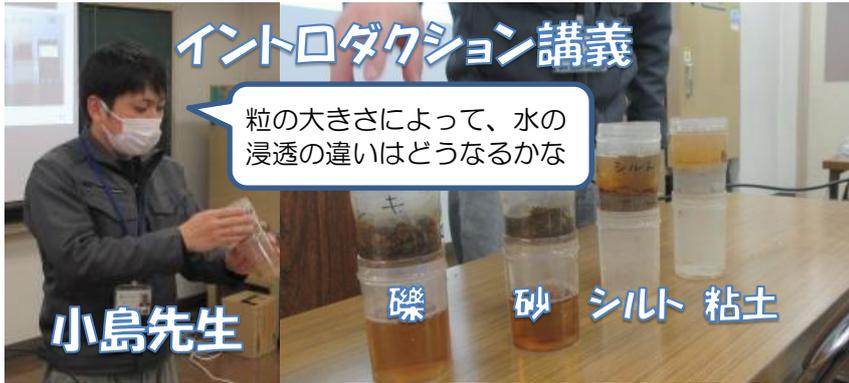


千葉県の地質 ～液状化現象・地下水～

日時：令和4年11月19日（土）9：00～12：35

場所：千葉県環境研究センター稲毛地区 参加者：8名

講師：千葉県環境研究センター 地質環境研究室の先生方



【受講生の感想】

- 様々な実験を体験させてもらえて面白かった。最近ではアスファルトばかりで、土の地面は身近ではなくなりつつあるけれど、危険性を分かったうえで自然と共にくらすことは大切だと思った。学校ではできないことができたので楽しかった。ありがとうございました。
- 地上の様々な現象は、学校で学ぶこともありましたが、地中に対しては全く想像ができませんでした。プレートなどの存在は知っていましたが、それでも未知の領域でした。この講座のお陰で地面の中に対する理解が色々な実験を通して学びました。必ずこれからに生かせるので、もっと理解を深めたいと思いました。
- 「地下水」「地層」と聞くとなんとなく自分たちの生活から遠いところにあるように感じていましたが、実際には地下水が様々なところで利用されていたり、災害の予測につながったり深く関係していることがわかりました。今回の講座ではモデルや動画などでわかりやすく知ることができました。自分の住んでいるところの地層にも興味が湧きました。
- 今回は、今まで自分がなんとなく考えていた地下について、いろいろなことがわかりました。地下水の水質を調べたときは「地下の方が水はきれいだ」というイメージが違っていただけに（水質汚染について）気がきました。また、レキと粘土の水を通す速さの違いに驚きました。
- 液状化現象とはまだ見たことがなかったが、砂が噴出してきて、こわいと思った。地層には、水を通しやすい層と通しにくい層の2つがあると初めて知った。いつもはわからない地下水の流動について、模型を使って見ることでできたので、わかりやすくて良かった。
- 液状化はこの地域ではさけられないことなどで学べてよかったです。化石などに興味はありましたが、地層を知ることで災害についても知れてよかったです